

桐生の元気再生事業

「繊維」「食」「歴史的まち並み」を活かした桐生ブランドの創出



伝建まちなか交流館に掛けられた布暖簾

国の支援を受けた桐生の元気再生事業

この事業は、地域の活力を向上させるための取り組みを国が支援するものです。

事業費の全額を国が負担するため人気が高く、全国から多数の応募がある中、難関を突破し、桐生の元気再生事業が選定されました。

桐生は織物のまちとして栄え、現在も多くの繊維関連産業が市内に残り、ノコギリ屋根の織物工場や歴史的まち並

み、豊かな食文化など、人を引きつける魅力が数多く残されています。

市ではこれらの貴重な資源を活用し、桐生のブランドイメージを高めていきます。

3つの取り組み

①繊維産業でまちを元気に

市内の繊維工場では、これまで培った技術をもとに優れた商品を製造していますが、良い商品であっても販売に結び付かないものもあります。

これらの商品を集め、専門家の意見を聞きながら「売れる商品づくり」を進めます。

また、繊維産業の未来を担う人材を育てるため、日本女子大学と連携し、市内の事業所でインターンシップを実施します。

②食でまちを元気に

桐生の食文化を背景に、地域で飲食店開業を目指す人を対象に「飲食店創業塾」を開講し、桐生の食産業の担い手を育てます。

また、受講者を対象に地域の食材を使用した「創作メニューコンテスト」を実施し、桐生の新たな名物料理を育てていきます。

③歴史的まち並みの保存・活用でまちを元気に

歴史的まち並みが残る本町一・二丁目及び天満宮周辺地区を核とした「桐生新町まちづくり事業推進計画」を作成するとともに、自治会やまちづくり団体などで構成する、「桐生新町まちづくり協議会」を設立し、まち並みの保存・活用を進めます。

また、桐生織物の技術を活用した「布暖簾」を作成して地区内に掲げ、「織都」としてのブランドイメージづくり

を推進します。

桐生の元気再生協議会

これらの3つの取り組みを推進するため、市のほか商工会議所や本一・本二まちづくりの会などで構成された「桐生の元気再生協議会」を7月に設立しました。地域や業界団体などと連携を取りながら事業を進めます。

まちの新たな活力に

この事業を通じて、桐生の魅力を内外にアピールし、まちの新たな活力につなげたいと考えています。市民の皆さんのご支援とご協力をお願いします。

詳しいことは、産学官推進室（☎市役所内線573）へお問い合わせください。

シュレッダーごみをトイレレットペーパーに再生

ホワイトゴートを設置



シュレッダーごみ（白ヤギ）を市役所1階、東側出入口口脇に設置しました。

地元企業、群馬大学工学部、北関東産官学研究会の皆さんとの連携により開発され、地域産業の活性化やCO2の削減につながり、国の「ものづくり日本大賞」優秀賞を受賞した製品です。ぜひご覧ください。

再生されたトイレレットペーパーは、来庁された人に1人1個無料で配布しています。詳しくは、生活環境課（☎市役所内線320）へお問い合わせください。

市役所庁舎内から出たシュレッダーごみと水を利用して、1時間に2個のトイレレットペーパーに再生する、全自動ペーパーマシン「ホ